

100年ぶりの弘前珍百景!

弘前城が動く!?



ご存じの方も多いと思いますが、弘前城本丸の石垣が100年ぶりに修理工事に入ります。「いつから工事が始まるの?」「お城がなくなるの?」と
 いろんな疑問があると思います。ということで、工程と経過をわかりやすく紹介します。完成まで10年もかかるとはいえ、こんな歴史的瞬間に
 たち会えるのは今だけ。その工程のひとつひとつが、今しか見られない貴重な瞬間です。全国的でもお城が動くのはなかなか見られない光景
 なので、曳屋(ひきや)される時期はぜひ弘前公園へ!

みなさんこんにちは!!
 たか丸くんです!!
 弘前城本丸の石垣が100年ぶりに
 修理工事に入るんだ!
 その工程を僕がわかりやすく
 おしえるよ~!



1 平成26年 10~11月

内濠の埋め立て



2 平成26年 11月末~翌3月

調査・搬出



3 平成27年 4月末~5月

さくらまつり期間



4 平成27年 5月中旬~7月

工事の準備



工事のために、
 な、なんと弘前城が移動するんだ!!!
 たか丸くんもびっくりだぞ!!

5 平成27年 8月~10月

曳屋(お城の移動)



6 平成28年

工事開始



7 平成33年秋頃

天守曳き戻し



鬼屋を見られるチャンス!
 さあお城が動くよ!

高さ14.4メートル
 総重量約400トンもの
 弘前城が、約3か月かけて
 移動するのは必見!

工事開始から約5年後、元の位置に天守が曳き戻されます。
 (工事全体が完了するのは工事開始から約10年後の予定です。)



明治・大正時代の石垣修理

弘前城の石垣修理や曳屋は今回が初めてではなく、明治・大正期にも行われています。明治29(1896)年に天守台下の石垣が崩壊したため、弘前城を西側へ曳屋しました。修理工事は弘前市内の洋風建築などに名を残す同市出身の大工棟梁「堀江佐吉」によって行われ、翌年無事完成しました。しかし今度は北側の石垣が崩壊し、盛岡工兵隊が工事を行い、修理を終えたのが大正5(1916)年でした。

曳屋とは…
 建造物を解体せずに、そのままの状態
 で移動する建築工法。曳屋技術の原点は、
 今から5000年前の古代エジプト文明で
 大きな建造物を運ぶ際に利用された
 「テコ」と「コロ」の原理を応用
 した技術だとされている。



移動後の風景…



以上が、弘前城本丸石垣修理工事の工程です!
 みんな、100年ぶりの珍百景を見逃すな!!